

## 上ヶ原浄水場再整備等事業における落札者の決定及び審査結果について

上ヶ原浄水場再整備等事業（以下「本事業」という。）について、民間資金等の活用による公共施設等の整備等の促進に関する法律（平成 11 年法律第 117 号、以下「PFI 法」という。）第 7 条の規定により、本事業を実施する民間事業者を、上ヶ原浄水場再整備等事業落札者決定基準（以下、「落札者決定基準」という。）に基づき選定しましたので、落札者及び PFI 法第 11 条の規定による客観的評価の結果を下記のとおり公表します。

令和 2 年 1 月 20 日

神戸市水道事業管理者 広瀬 朋義

### 記

#### 1. 選定事業者

入札参加者の名称、代表企業及び構成企業は以下のとおりである。

入札参加者名	代表企業	代表企業以外の構成企業等
神鋼環境ソリューショングループ	株式会社神鋼環境ソリューション	<b>【構成企業】</b> 株式会社日水コン 兵庫事務所 三井住友建設株式会社 神戸営業所 メタウォーター株式会社 関西営業部 神鋼環境メンテナンス株式会社 <b>【協力企業】</b> なし

## 上ヶ原浄水場再整備等事業の提案審査結果

令和2年1月20日

### 上ヶ原浄水場再整備等事業者選定評価委員会

氏名	役職等
柳川 隆	神戸大学大学院経済学研究科 教授
伊藤 禎彦	京都大学大学院工学研究科 教授
上村 敏之	関西学院大学経済学部 教授
鋤田 泰子	神戸大学大学院工学研究科 准教授
児玉 成二	神戸市水道局 副局長

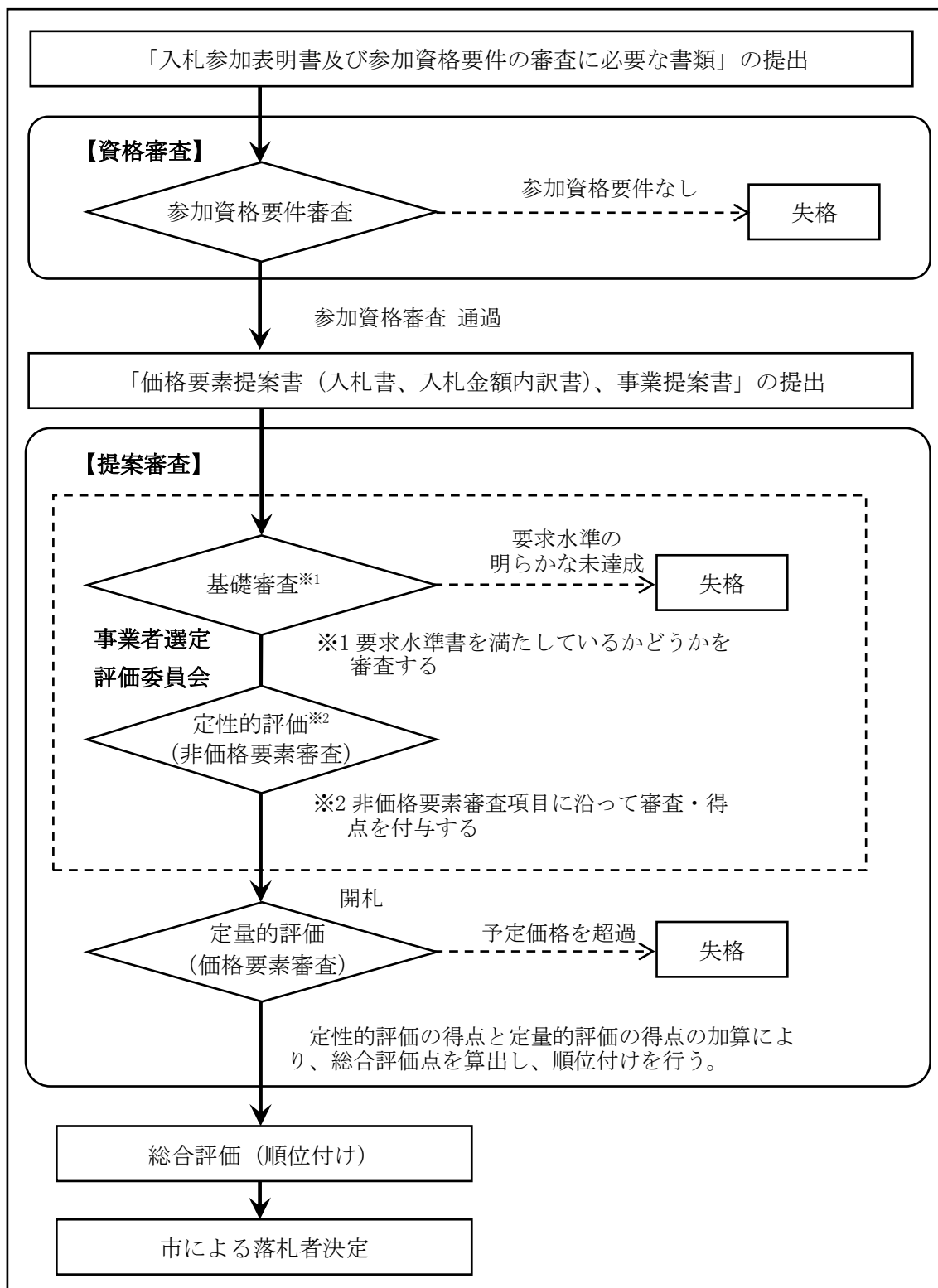
## 1. 事業者選定評価委員会の審議・審査等の経過

本事業の落札者を選定するために、事業者選定評価委員会を5回開催した。事業者選定評価委員会の審議・審査等の経過については以下のとおりである。

(事業者選定評価委員会の開催日及び審議・審査等の概要)

委員会	開催日	審議・審査等の概要
第1回	平成31年1月15日(火)	委員長の選任 実施方針及び要求水準書案の審議
第2回	令和元年5月14日(火)	落札者決定基準の審議
第3回	令和元年9月10日(火)	提案評価プロセスの審議
第4回	令和元年10月28日(月)	事業提案書等における不明瞭事項に対する明瞭化 ヒアリングにおける説明・確認事項の審議
第5回	令和元年12月24日(火)	プレゼンテーション・ヒアリング審査 非価格点の審議・評価結果のとりまとめ

(審査の手順)



## 2. 審査結果

### (1) 基礎審査結果

事業者選定評価委員会は、令和元年10月7～11日に入札書等及び事業提案書等を提出した以下の入札参加者について、基礎審査事項を全て満たしていることを確認した。

入札参加者名	代表企業	構成企業・協力企業
神鋼環境ソリューショングループ	株式会社神鋼環境ソリューション	【構成企業】 株式会社日水コン 兵庫事務所 三井住友建設株式会社 神戸営業所 メタウォーター株式会社 関西営業部 神鋼環境メンテナンス株式会社 【協力企業】 なし

※提案審査の過程においては、入札参加者名等を匿名として事業者選定評価委員会による審査を行った。

## (2) 定性的評価結果

### ① 定性的評価項目、得点化基準及び定量化方法

落札者決定基準で示した定性的評価項目、得点化基準及び定量化方法は以下のとおりである。

(定性的評価項目)

No	審査項目	配点※
■事業実施に関する項目		計 16 点
1	事業計画	5 点
2	事業実施体制	5 点
3	セルフモニタリング	4 点
4	地元貢献	2 点
■施設再整備に関する項目		計 54 点
5	設計プロセス	4 点
6	処理プロセス設計	10 点
7	土木・建築構造物設計	7 点
8	機械設備設計	8 点
9	電気計装設備設計	6 点
10	建設工事計画	6 点
11	工事監理方法	6 点
12	周辺環境への配慮	3 点
13	新技術の採用	4 点
■施設維持管理に関する項目		計 30 点
14	運転管理計画	7 点
15	保全管理計画	6 点
16	水質管理計画	6 点
17	災害・事故時の対応	7 点
18	事業終了時の引継ぎ業務	2 点
19	その他、創意工夫に関する事項	2 点
		合計 100 点×0.6

※非価格点の算出にあたって、60 点満点における得点に換算する。

(得点化基準)

評 価	評価基準	点数化の方法
A	要求水準を超える具体的に極めて優れた提案がある	配点×1.0
B	要求水準を超える具体的に優れた提案がある	配点×0.7
C	要求水準を満たし、具体的な提案がある	配点×0.4
D	要求水準を満たすが、特に提案がない	配点×0.0

(定性的評価の定量化方法)

$\text{非価格点} = (\text{100点満点での得点}) \times 0.6$
--

※有効桁数は小数点第1位とし、小数点第2位は四捨五入。

## ② 定性的評価結果

事業者選定評価委員会は、入札参加者へのプレゼンテーション・ヒアリング審査を踏まえ、事業提案書等に対して最終的な審査・評価を行い非価格点を以下のとおり算出した。

(入札参加者の非価格点)

No	審査項目	配点	神鋼環境ソリューショングループ
■事業実施に関する項目		計 16 点	10.84 点
1	事業計画	5 点	4.10 点
2	事業実施体制	5 点	3.50 点
3	セルフモニタリング	4 点	2.08 点
4	地元貢献	2 点	1.16 点
■施設再整備に関する項目		計 54 点	34.84 点
5	設計プロセス	4 点	2.56 点
6	処理プロセス設計	10 点	8.20 点
7	土木・建築構造物設計	7 点	5.74 点
8	機械設備設計	8 点	4.64 点
9	電気計装設備設計	6 点	3.12 点
10	建設工事計画	6 点	3.84 点
11	工事監理方法	6 点	3.48 点
12	周辺環境への配慮	3 点	1.74 点
13	新技術の採用	4 点	1.52 点
■施設維持管理に関する項目		計 30 点	19.32 点
14	運転管理計画	7 点	5.32 点
15	保全管理計画	6 点	3.12 点
16	水質管理計画	6 点	3.84 点
17	災害・事故時の対応	7 点	4.48 点
18	事業終了時の引継ぎ業務	2 点	1.40 点
19	その他、創意工夫に関する事項	2 点	1.16 点
合計 (100 点満点)			65.00 点
合計 (60 点満点)			39.0 点



### (3) 定量的評価結果

#### ① 定量的評価の定量化方法

落札者決定基準で示した定量的評価の定量化方法は以下のとおりである。

(定量的評価の定量化方法)

$$\text{価格点} = \frac{\text{最も低い入札金額}}{\text{当該入札参加者の提示する入札金額}} \times 100 \text{ 点} \times 0.4$$

※有効桁数は小数点第1位とし、小数点第2位は四捨五入。

#### ② 定量的評価結果

事業者選定評価委員会は、令和元年12月24日に入札書の開札において、入札書に記載された入札金額が入札説明書に示す予定価格を下回ることを確認を行った。

入札説明書に記載された入札金額に対して定量的評価の定量化方法に基づき価格点を以下のとおり算出した。

(入札参加者の価格点)

	神鋼環境ソリューショングループ
入札金額	14,849,056,200 円
価格点	40.0 点

#### (4) 総合評価結果

##### ① 総合評価点の算出方法

非価格点と価格点を合算した総合評価点の算出方法は以下のとおりである。

(総合評価点の算出方法)

総合評価点 (満点 100 点)	=	【非価格点】 (満点 100 点×0.6) 60 点換算	+	【価格点】 (満点 100 点×0.4) 40 点換算
---------------------	---	------------------------------------	---	-----------------------------------

##### ② 総合評価結果

事業者選定評価委員会における総合評価の結果、入札参加者の総合評価点及び順位は以下のとおりである。

(入札参加者の総合評価点及び順位)

順位	入札参加者	非価格点	価格点	総合評価点
1	神鋼環境ソリューション グループ	39.0 点	40.0 点	79.0 点

**(5) 落札者の市への答申**

事業者選定評価委員会は、神鋼環境ソリューショングループを落札者として最も適切なものとして選定し、市に答申した。

### 3. 定性的評価に関する評価結果

事業者選定評価委員会は、落札者決定基準に基づき、本事業の定性的評価を行ったので、以下に講評する。

#### (1) 事業実施に関する項目に対する評価

上ヶ原浄水場の再整備を通じて次の 100 年も安定的に神戸へ水を送るという市の方針に対し、落札者の提案では「共創」、「強靱」、「持続」というコンセプトが提案された。その中で、浄水場施設の設計、建設、維持管理各業務で高度な知見を有する企業による実効性の高い事業体制に関する提案が示され、特別目的会社が負うリスクを構成企業にパススルーすることで事業運営の安定性を確保している点が特に評価された。また、地元企業である代表企業が各業務の実施主体である JV の代表企業として本事業に責任を持って取組む意欲も確認することが出来た。

#### (2) 施設再整備に関する項目に対する評価

上ヶ原浄水場における用地特性や原水水質に対し、落札者の提案では浄水場の位置エネルギーを活用した効率的な施設配置、過去 10 年間の水質情報に基づく水質変動を踏まえた水処理プロセスについて具体的な提案があった。また、建設工事に伴う騒音、振動等の環境対策について、事前に地元住民への聞き取り調査を行う等、周辺環境に配慮した具体的な提案があった。

なお、本事業において採用する新技術に関しては、施工技術に関する提案が多かった一方、情報関連技術に関しては、近年の社会情勢を踏まえた提案は見受けられなかった。

#### (3) 施設維持管理に関する項目に対する評価

上ヶ原浄水場の維持管理に関する要求に対し、落札者の提案では PDCA サイクルによる維持管理業務の改善を図るほか、水質悪化等の異常発生時を想定した初動対応及び市との情報共有・連絡体制の構築など、安定的な水供給体制を確保するための提案があった。また、本事業期間終了後も代表企業による運転管理等のサポート体制を構築するなど、事業終了後のバックアップ体制についても具体的な提案があった。

最後に提案内容が多岐にわたることから、提案書の作成において多大な労力及び費用負担があったことが想定される。そのような中、提案をまとめた落札者の熱意に敬意を表するとともに深く感謝する。

以上